

平成18年度自衛隊生徒募集

募集区分 自衛隊生徒
 受験資格 中学卒業（見込含）の17歳未満の男子
 受付期間 平成18年11月1日から平成19年1月9日まで
 一次試験 平成19年1月13日

お問い合わせ先

自衛隊鳥取地方協力本部
 TEL 0859-33-2440

年末調整説明会

源泉徴収義務者の方を対象に平成18年分の年末調整説明会を行います。
 日時 11月21日（火）午後1時30分～3時30分
 会場 米子コンベンションセンター
 対象 米子市・南部町・伯耆町・日吉津村内の徴収義務者

お問い合わせ先

米子税務署法人課税第一部門
 TEL 0859-32-4121(内線243)

家庭用用紙シュレッダーにご注意ください！

一般家庭への用紙シュレッダーの普及に伴い、幼児が用紙シュレッダーで誤って指を切断する事故が相次いで発生しています。安全管理には十分に留意してください。

- ① シュレッダーは幼児の手の届かないところに設置し、大人の真似をしないよう、使用している姿を幼児に見せないようにしましょう
 - ② 万一の場合、事故を防ぐために使用後は必ず電源を切る習慣をつけましょう。
- 改修対象製品をご使用の場合は、メーカーにより無償交換または安全加工等が施されます。くわしくは消費生活センターにお尋ねください。

お問い合わせ先

鳥取県生活環境部消費生活センター
 TEL 34-2765

自賠責保険・共済の有効期限は切れていませんか？

自賠責保険・共済は、万一の自動車事故の際の基本的な対人賠償を目的として、原動機付自転車を含む全ての自動車保有者に、自動車1台ごとに加入が義務付けられています。

特に車検制度のない250cc以下のバイク（原動機付自転車・軽二輪自動車）は有効期限切れ、かけ忘れにご注意ください。
 交通事故により死者数は年々減少傾向にあるものの、事故発生件数は6年連続で90万件、負傷者数は7年連続で100万人を超えています。（平成17年末）
 交通事故は被害者にとっても加害者にとっても悲惨な結果をもたらすものです。自賠責保険・共済を十分にご理解ください。
 なお、自賠責制度の詳細な内容は、<http://www.jibai.jp>でご覧いただけます。

男女共同参画社会をめざす環日本海友好交流フォーラム

「21世紀の社会発展のために男女の力をどう活かすか」～新しい生き方の創造：ライフスタイルの多様性と働き方～をテーマに開催されます。
 日時 11月3日(祝)～4日(土)
 会場 米子コンベンションセンター
 内容 基調講演 渥美由喜さん
 環日本海パネルディスカッション
 ワークショップ
 企画展示
 パザールなど
 託児 無料、要予約（原則として1歳～就学前の幼児対象）

お問い合わせ先

男女行動参画社会をめざす環日本海友好交流フォーラム実行委員会事務局
 TEL 0857-26-7077

2007年版（平成19年版）鳥取県民手帳を販売します

毎年販売しております鳥取県民手帳を今年も販売します。薄くて使いやすい日記式手帳で、県勢が一目でわかる各種統計資料と日常生活に役立つ便覧を多数掲載
 販売価格 1冊 500円
 仕様 カバー/ビニール生地
 サイズ/140×80mm
 カバー色 ブラック、ワインレッド、ブルグレー
 販売開始日 平成18年10月23日(月)
 ご購入先 役場法勝寺庁舎
 企画政策課窓口
 TEL 66-3113
 役場天萬庁舎
 町民生活課窓口
 TEL 64-3781



南部町健康福祉・ボランティアフェスティバル

子どもから高齢者まで、全ての方に楽しみながら健康保持と増進への理解を深め、地域で活躍されている福祉・ボランティア活動を知っていただくための催しとして「南部町健康福祉・ボランティアフェスティバル」を開催します。
 当日はふれあいバスを無料で平常運行しますので、みなさんご利用ください。
 日時 10月29日（日）午前9時～午後3時
 会場 健康管理センター すこやか西伯病院

お問い合わせ先

南部町健康福祉・ボランティアフェスティバル実行委員会事務局（健康福祉課内）
 TEL 66-5524

株式会社ミトクハーネスは昭和60年に伯耆町（旧岸本町）で設立、操業を開始して、現在、新潟県村上市、中国の青島に工業を持ち、規模拡大に伴って平成15年12月から岸本工場、会見工場を統合し、南部町（旧西伯町）の誘致企業として原工業団地で操業が開始されました。
 主に電線加工を行っており、主力商品である自動車用ハーネス（自動車用組電線）は、自動車の中を通る電線のことで、人間でいうと血管や神経にあたる部分です。
 南部工場では自動車用ハーネス、建機用ハーネスの製作と、青島の工場から届けられる製品の検品を行っています。

南部町の企業を紹介します④

株式会社 ミトクハーネス



株式会社 ミトクハーネス



所在地	南部町原251-25
設立	昭和60年

力会社として、加工された製品はマツダ、三菱を中心にほぼすべての自動車メーカーに出荷され、さまざまな自動車に使用されています。自動車に入ってしまうとわからない部分の商品ですが、南部町で作られた部品が私たちの車にも使われているかもしれません。
 従業員は40代、50代を中心に約130人で、外注を含むと約40人が南部町から通勤しており、また、16人の中国人研修生が南部町で働いています。従業員の8割が女性という女性の職場です。長谷川社長は「地域の雇用と工業団地の美化を心がけており、法面の草刈作業、全従業員による一斉清掃等景観にとけこめるよう努力しています」と話してくださいました。

南部町の民話 8 賀茂の銀煙管



絵：野口宣友

一時に文化から文政元年に変わるころ、秋の大例祭に合わせ賀茂大明神の御影石を加工した鳥居の運搬が始まりました。
 石工棟梁の瀧山文三郎から、「表参道から狭い間道まで、大鳥居の半分を二人で差しもちで担ぐので、氏子の中から強力をひとり呼んでくれ。」との要請が、氏子総代や神主にありました。文三郎の愛弟子で渡り石工の比田の鎌蔵が一方の担ぎ手を勤めるのですが、鎌蔵は気が荒く、口達者な若者だったため、相棒探しに、神主、総代は苦心しました。担ぎ手に選ばれたのは、阿賀の徳兵衛の婿養子で屈強の若者、力雄でした。総代の頼みに、力雄はふたつ返事で軽く引き受けたものの、力自慢の鎌蔵が相手ではと新妻のおとよも神主も不安を覚えました。

「こんな若造で道中つとまるかねえ、御影石の半分といっても、大鳥居上段の冠の左半分だけ。」鎌蔵は高慢な態度で力雄を迎えました。
 二人は歩き出しました。法勝寺宿一里塚に差し掛かったところで二人は休憩に入りました。「腰を降ろすのも面倒だ、どうでえ立ったまんまで一服といこうか」と鎌蔵が言い、二人は鳥居を担いで立ったまま生き杖を立て、銀煙管をくわえてたばこを吸い始めました。それを見ていた宿場の客は、「ほう、すげえ力もちだな」と二人に喝采を浴びせました。
 喝采に力を得た二人は、法勝寺宿を後にして氏子の待つ賀茂神社に着きました。「どっこいしょ」と鳥居石冠を下ると、二人はやんやの賞賛を浴びました。「おい、力どん！なんとおまえさん、いい力を持っているな」と初めてにっこり笑って鎌蔵が力雄をほめれば、「いやいや、さすが石屋の鎌蔵さんの力には感心しました」と鎌蔵をほめ返し、二人は石段に腰を降ろして一服しました。
 さて、この時力雄の使った銀煙管にはまったく異常はありませんでしたが、鎌蔵の銀煙管には新しい歯形がちぎればかりについていたということでした。二人の銀煙管が力くらべの決着を物語るというものです。

おしまい